

# レベル別・言語活動別能力記述文の例 (案)

※ C E F R (2001) を参照し、その後、「標準的なカリキュラム案」「J F 日本語教育スタンダード」を参考として修正・検討を行い、能力記述文例を作成する。

※ (1-1)、(1-2) など"-がついているものは、CEFRの分類上は一体のCan-doとして提示されているもの。国際交流基金作成の一覧表では複数の文に渡るCan-doは、2, 3個に分割して提示している。

段階	レベル	理解すること		話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	やりとり	表現	書くこと
熟達した言語使用者	C2	<p>(1)【1：包括的な聴解】母語話者にかなり速いスピードで話されても、生であれ、放送であれ、どんな種類の話し言葉も難無く理解できる。</p> <p>(2)【18：聴衆の一人として生で聞くこと】かなり程度の高い口語表現や方言的な慣用表現、馴染みの薄い専門用語を利用した専門の講義やプレゼンテーションを理解できる。</p> <p>*「聞くこと」C2固有のCan-dolは2個。</p>	<p>(1)【37：包括的な読解】抽象的で構造的に複雑な、もしくは口語表現の非常に多い文学、および文学以外の書き物を含めて、書かれた言葉のあらゆる形式を実質的に理解して批判的に解釈できる。(一部：38)</p> <p>(2)【38：包括的な読解】意味や文体の微妙な違いを味わい、明示的な意味と同時に暗示的な意味も味わいながら、幅広い分野にわたって、長い複雑なテキストを理解できる。(一部：37)</p> <p>*「読むこと」C2固有のCan-dolは2(1)個。</p>	<p>(1)【165：総合的な口頭発話】慣用的な表現や口語表現をかなり使いこなすことができ、コンテキストまで気がつく。かなりの確に修飾を加えることによって正確に細かいニュアンスまで伝えることができる。表現しにくいところを上手に回避して発話を再構成できるし、対話の相手は修復がなされたことにはほとんど気がつかない。</p> <p>(2)【174：母語話者との対話を理解すること】標準的でない話し方や言い方に慣れる機会があれば、自分の専門分野を超えた専門家の抽象的な複雑な話題でも、話し相手の母語話者が言ったことを理解できる。</p> <p>(3)【183：会話】社会や個人生活全般にわたって、言語上の制限もなく、ゆとりをもって、適切に、自由に会話ができる。</p> <p>(4)【223：公式の議論とミーティング】複雑な論題についての議論で自己主張できる。母語話者と比べても引けをとらず、明確で説得力のある議論ができる。</p> <p>(5)【292：インタビューすること、インタビューを受けること】きわめて上手に対話の一方を務めることができる。母語話者と比べても引けをとらず、インタビューする人がインタビューを受け人として、堂々と、非常に流暢に話や対話を組み立てることができる。</p> <p>*「やりとり」C2固有のCan-dolは5個。</p>	<p>(1)【82：総合的な口頭発話】聞き手が要点を記憶、あるいは後で思い出す際の足がかりになるような、論理的な構造を持った、流れのよい、構成のしっかりしたスピーチができる。</p> <p>(2)【89：長く一人で話す：経験談】明瞭で滞りなく、詳しく、多くは記憶に残るような経験談ができる。</p> <p>(3)【119：聴衆の前での講演】話題について知識のない聴衆に対しても、自信を持ってはっきりと複雑な内容を口頭発表できる。聴衆の必要性に合わせて柔軟に話を構造化し、変えていくことができる。(一部：120)</p> <p>(4)【120：聴衆の前での講演】難しい、あるいは敬意すら感じられる質問に対処することができる。(一部：119)</p> <p>*「表現」C2固有のCan-dolは4(3)個。</p>	<p>(1)【134：総合的な書く活動】適切で印象的な文体と論理的な構成を用いて、明瞭に調子よく、複雑なテキストを書くことができる。読者には重要な点に分かるようになっている。</p> <p>(2)【140：創作】明瞭ですらすらと流れるように、そのジャンルに適切な文体で書き、読み手を完全に引き込むことができる。</p> <p>(3)【154：レポートやエッセイ】明瞭で流れるような、複雑なレポート、記事、エッセイを書き、事例を説明したり、提案や文学作品の批評文を書くことができる。(一部：155)</p> <p>(4)【155：レポートやエッセイ】読者に重点が分かるように、適切で効果的に論理を構成することができる。(一部：154)</p> <p>*「書くこと」C2固有のCan-dolは4(3)個。</p>
	C1	<p>(1)【2：包括的な聴解】特に耳慣れない話し方をする話者の場合には、時々細部を確認しなければならない場合があるが、自分の専門外の抽象的で複雑な話題についての長い発話にも充分についていける。(一部：3、4)</p> <p>(2)【3：包括的な聴解】幅の広い慣用表現や口語体表現が理解できる。言語使用域の移行を正しく認識できる。(一部：2、4)</p> <p>(3)【4：包括的な聴解】構造がはっきりしていない場合、または内容の関係性が暗示されているだけで、明示的でない場合でも、長い発話を理解できる。(一部：2、3)</p> <p>(4)【13：母語話者同士の対話の理解】抽象的で複雑、かつ未知の話題でも、グループ討議やティベートでの第三者間の複雑な話し合いを容易に理解できる。</p> <p>(5)【19：聴衆の一人として生で聞くこと】たいていの講義、議論、ティベートが比較的容易に理解できる。</p> <p>(6)【23：広報・アナウンスや指示を聞くこと】例えば、駅やスポーツ・スタジアムのような所での、聞き取れないほど音質が悪い、歪みのあるアナウンスから、特定の情報を引き出すことができる。(一部：24)</p> <p>(7)【24：広報・アナウンスや指示を聞くこと】取扱説明や、ごく身近な製品説明やサービスについての、複雑な専門的情報が理解できる。(一部：23)</p> <p>(8)【31：音声メディアや録音を聞くこと】いくつか非標準的な表現があっても、録音され、放送された広範囲な音声素材を理解できる。事柄に対する話し手の、言葉に表れない姿勢や、話し手の間の関係など、細かい点が聞き取れる。</p> <p>(9)【74：テレビや映画を見ること】相当数の俗語や慣用表現のある映画が理解できる。(視聴覚受容活動)</p> <p>*「聞くこと」C1固有のCan-dolは9(6)個。</p>	<p>(1)【39：包括的な読解】長くて複雑なテキストでも、難しい節を繰り返して読めるのであれば、自分の専門に関係がなくても、中身を詳細に理解できる。</p> <p>(2)【45：通信文を読むこと】辞書を時々使えば、どんな種類の通信文でも理解できる。</p> <p>(3)【59：情報や議論を読むこと】社会、専門、学問の分野で出合う可能性のある、ある程度長い、複雑なテキストを詳細な点まで理解できる。意見表明だけでなく、含意された意見や立場も含めて詳細な点まで理解できる。</p> <p>(4)【68：説明書を読むこと】もし難しい箇所を読み返すことができれば、それが自分の専門分野に関連していなくても、新しい機械や使用手順についての長い複雑な説明を細かいところまで理解できる。</p> <p>*「読むこと」C1固有のCan-dolは4個。</p>	<p>(1)【166：一般的な話し言葉のやり取り】ほとんど努力する必要がないくらい、らくらくと流暢に、自然に言いたいことを表現できる。幅の広い語彙が使いこなせ、間接的な表現を使って即座に対話の隙間を埋めることができる。見て分かるような表現探しや、回避の方略はほとんどない。概念的に難しい話題だけが自然でスムーズな言葉の流れを邪魔する。</p> <p>(2)【175：母語話者との対話を理解すること】自分の専門分野外の話題についての専門家による抽象的な、複雑な話を詳しく理解できる。ただ、馴染みのない話し方の場合は特に、時々詳細を確認する必要はある。</p> <p>(3)【184：会話】感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。</p> <p>(4)【203：非公式の議論(友人との)】抽象的で複雑でよく知らない話題でも、グループ討議では第三者間の複雑な対話を容易に理解し、そこに加わることができる。</p> <p>(5)【224：公式の議論とミーティング】抽象的かつ複雑で身近でない話題でも、ティベートに容易についていくことができる。(一部：225)</p> <p>(6)【225：公式の議論とミーティング】説得力をもって公式に主張を展開でき、質問やコメントに応じ、複雑な筋立ての対抗意見にも、流暢に自然に適切に応えることができる。(一部：224)</p> <p>*「やりとり」C1固有のCan-dolは6(5)個</p>	<p>(1)【83：総合的な口頭発話】複雑な話題について、明瞭かつ詳細な記述やプレゼンテーションができる。下位テーマをまとめたり、一定の要点を展開しながら、適当な結論にもっていくことができる。</p> <p>(2)【90：長く一人で話す：経験談】複雑な内容を明瞭かつ詳細に述べることができる。(一部：91)</p> <p>(3)【91：長く一人で話す：経験談】洗練された記述と語りができる。そして、下位テーマをまとめ、要点の一つを展開して、適切な結論で終わらせることができる。(一部：90)</p> <p>(4)【115：公共アナウンス】細かいニュアンスを正確に伝えるために強弱、イントネーションをつけて、楽々と、かつ流暢にアナウンスができる。</p> <p>(5)【121：聴衆の前での講演】複雑な話題について、明確なきちんとした構造を持ったプレゼンテーションができる。補助事項、理由、関連事例を詳しく説明し、論点を展開し、立証できる。(一部：122)</p> <p>(6)【122：聴衆の前での講演】聴衆からの不意の発言にも対応することができる。ほとんど苦勞せずに自然に反応できる。(一部：121)</p> <p>*「表現」C1固有のCan-dolは6(5)個。</p>	<p>(1)【135：総合的な書く活動】複雑な話題について、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。関連性のある重要点を強調して、補助的事項、理由、関連する詳細な事例を付け加えて、論点を展開し、それを維持していくことができる。最後に、適切な結論で終わることができる。</p> <p>(2)【141：創作】読者として想定した相手にふさわしい、自分の、しかも自然な文体で、自信を持って、明瞭かつ詳細な、的確な構成と展開を持つ記述文や創作文が書ける。</p> <p>(3)【156：レポートやエッセイ】複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。(一部：157)</p> <p>(4)【157：レポートやエッセイ】補助的な観点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書ける。(一部：156)</p> <p>*「書くこと」C1固有のCan-dolは4(3)個。</p>



段階	レベル	理解すること		話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	やりとり	表現	書くこと
自立した言語使用者	B2	<p>(1) B2.2【5：包括的な聴解】生であれ、放送であれ、身近な話題でなくとも、個人間、社会、学問、職業の世界で通常出合う話題について、標準語で話されれば理解できる。周囲の極端な騒音、不適切な談話構成や慣用表現だけが理解を妨げる。</p> <p>(2) B2.1【6：包括的な聴解】自分の専門分野での技術的な議論を含めて、標準語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、内容的にも言語的にもかなり複雑な話の要点を理解できる。（一部：7）</p> <p>(3) B2.1【7：包括的な聴解】もし話題がそれなりに身近なもので、話の方向性が何らかの標識で明示的に示されているれば、長い話や複雑な議論の流れでも理解できる。（一部：6）</p> <p>(4) B2.2【14：母語話者同士の対話の理解】母語話者同士の活気に富んだ会話についていくことができる。</p> <p>(5) B2.1【15：母語話者同士の対話の理解】自分の話し方を全く変えない母語話者との議論に上手に加われないかもしれないが、少し努力すれば、自分の周りで話されていることのほとんどを聞き取ることができる。</p> <p>(6) B2【20：聴衆の一人として生で聞くこと】内容的にも言語的にも複雑な講義、話、報告、そのほかの学問的/専門的なプレゼンテーションの要点は理解できる。</p> <p>(7) B2【25：広報・アナウンスや指示を聞くこと】標準語で普通のスピードで話されていれば、具体的なことでも抽象的なことでも、アナウンスやメッセージを理解できる。</p> <p>(8) B2.2【32：音声メディアや録音を聞くこと】社会、専門、学問の世界で普段出合うもので、標準語で録音されたものは理解できる。また、情報の内容だけでなく、話し手の視点や事柄に対する姿勢が聞き取れる。</p> <p>(9) B2.1【33：音声メディアや録音を聞くこと】標準語で話されているほとんどのラジオドキュメンタリーや、録音・放送された音声素材を理解できる。話し手の心情や調子などが聞き取れる。</p> <p>(10) B2【75：テレビや映画を見ること】たいいていのテレビのニュースや時事問題の番組が理解できる。（視聴覚受容活動）（一部：76）</p> <p>(11) B2【76：テレビや映画を見ること】標準的な言葉遣いのドキュメンタリー、生のインタビュー、トークショー、演劇、大部分の映画を理解できる。（視聴覚受容活動）（一部：75）</p> <p>*「聞くこと」B2固有のCan-doは11（9）個。</p>	<p>(1) B2【40：包括的な読解】適切な参考資料を選択して使いながら、さまざまな目的やテキストの種類に合わせて、読むスピード、読み方を変えながら、独力でかなりのところまで読み解ける。広汎な語彙力を持っているが、頻度の低い慣用句にはいくらか手こずすることもある。</p> <p>(2) B2【46：通信文を読むこと】自分に興味のある分野に関連した通信文を読んで、すぐに主要点が把握できる。</p> <p>(3) B2【51：世情を把握するために読むこと】ざっと目を通しただけで、長い複雑なテキストの重要事項を見定めることができる。（一部：52）</p> <p>(4) B2【52：世情を把握するために読むこと】幅の広い専門的な話題についての情報や記事、レポートの内容やその重要度をすぐに見抜き、綿密な読解の価値があるどうかを決めることができる。（一部：51）</p> <p>(5) B2.2【60：情報や議論を読むこと】自分の専門分野の非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。（一部：61）</p> <p>(6) B2.2【61：情報や議論を読むこと】専門用語の意味を確認するために辞書を使うことができれば、自分の専門外であっても専門記事が理解できる。（一部：60）</p> <p>(7) B2.1【62：情報や議論を読むこと】筆者が特別の立場や視点から取り上げた、現代の問題に関する記事やレポートを理解できる。</p> <p>(8) B2【69：説明書を読むこと】もし難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。</p> <p>《CEFR固有の表現》【69：説明書を読むこと】もし難しい箇所を読み返すことができれば、それが自分の専門分野に関連していなくても、新しい機械や使用手順についての長い複雑な説明を細かいところまで理解できる。難しい箇所を読み返すことができれば、条件や警告の詳細までも含めて、自分の関係分野の長い複雑な説明を理解できる。</p> <p>*「読むこと」B2固有のCan-doは8（6）個。</p>	<p>(1) B2.2【167：一般的な話し言葉のやり取り】一般的、学術的、職業上、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。言いたいことが表現できない様子もまずなく、文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。</p> <p>(2) B2.1【168：一般的な話し言葉のやり取り】母語話者を相手に、お互いにストレスを感じさせることなく、普通の対話や関係が維持できる程度に、流暢に自然に対話できる。個人的に重要な出来事や経験を強調して、関連説明をし、根拠を示して自分の見方をはっきりと説明し、主張・維持できる。</p> <p>(3) B2【176：母語話者との対話を理解すること】騒音のある環境でも標準的な話し言葉で自分に言われたことを詳細に理解できる。</p> <p>(4) B2.2【205：非公式の議論（友人との）】正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。（一部：204）</p> <p>(5) B2.1【207：非公式の議論（友人との）】話し方を普段と全く変えない複数の母語話者との議論に加わるのは難しいかもしれないが、多少の努力をすれば議論の中で言われていることが大部分理解できる。（一部：206、208）</p> <p>(6) B2【239：目的達成のための協同作業】原因や結果を推測し、異なるアプローチの利点と不利な点を比較考量しながら、論点や問題の概略をはっきりと述べることができる。（一部：237、238）</p> <p>(7) B2.2【268：情報の交換】自分の職業上の役割に関するどのような事柄についても、複雑な情報や助言を理解・交換することができる。</p> <p>(8) B2.1【269：情報の交換】信頼を得られる程度に情報を詳しく伝えることができる。（一部：270、271）</p> <p>(9) B2.2【294：インタビューすること、インタビューを受けること】インタビューをなめらかに効果的に行うことができる。相手の興味深い返答を取り上げ、用意した質問を自発的に変えるなどして、さらに興味深い答えを引き出すことができる。</p> <p>(10) B2.1【295：インタビューすること、インタビューを受けること】インタビューを受けるとき、相手に助けをもらったり、水を向けてもらわなくても、イニシアティブをとってアイデアを伸長、伸展させることができる。</p> <p>*「やりとり」B2固有のCan-doは28（15）個 *包括的なものは採用。 *カテゴリーごとのバランスを見て選択 *2.1、2.2揃っているもので比較的レベル感がわかるものを選択</p>	<p>(1) B2.2【84：総合的な口頭発話】記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。要点を見失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。</p> <p>(2) B2.1【85：総合的な口頭発話】自分の関心のある分野に関連した、広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述、プレゼンテーションができる。事項を補足しながら、関連事例を挙げて、主張を強化、展開することができる。</p> <p>(3) B2【92：長く一人で話す：経験談】自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確で詳しく述べることができる。</p> <p>(4) B2.2【109：長く一人で話す：論拠を述べること】適切に要点を強調し、重要な関連のある補足事項を詳しく取り上げて、整然と論拠を展開できる。</p> <p>(5) B2.1【110：長く一人で話す：論拠を述べること】はっきりとした議論を展開できる。補助的視点や関連事例を詳細に補足し、自分の見解を展開し、話を続けることができる。（一部：111、112）</p> <p>(6) B2.1【111：長く一人で話す：論拠を述べること】理路整然と論拠を並べ挙げるができる。（一部：110、112）</p> <p>(7) B2.1【112：長く一人で話す：論拠を述べること】いくつかの選択肢の利点と不利な点を挙げて、話題となる問題の視点を説明できる。（一部：110、111）</p> <p>(8) B2【116：公共アナウンス】聞き手になんのストレスも不快さも与えることがなく、一般的な話題のほとんどについて、明快に流暢に、ごく自然にアナウンスができる。</p> <p>(9) B2.2【123：聴衆の前での講演】はっきりとした、体系的に展開したプレゼンテーションができる。その際重要な要点や、関連する詳細事項を補足的に強調することができる。（一部：124）</p> <p>(10) B2.2【124：聴衆の前での講演】あらかじめ用意されたテキストから自然に離れて、聴衆が喚起した興味ある事柄に対応できる。そこで非常に流暢に楽に表現ができる。（一部：123）</p> <p>(11) B2.1【125：聴衆の前での講演】事前に用意されたプレゼンテーションをはっきりと行うことができる。ある見方に賛成、反対の理由を挙げて、いくつかの選択肢の利点と不利な点を示すことができる。（一部：126）</p> <p>(12) B2.1【126：聴衆の前での講演】一連の質問に、ある程度流暢に自然に対応ができる。話を聞く、あるいは話をする際に聴衆にも自分にも余分な負担をかけることはない。（一部：125）</p> <p>*「表現」B2固有のCan-doは12（8）個</p>	<p>(1) 2【136：総合的な書く活動】いろいろな情報や議論をまとめて評価した上で、自分の関心がある専門分野の多様な話題について明瞭で詳細なテキストを書くことができる。</p> <p>(2) 2.2【142：創作】実際、もしくは想像上の出来事や経験について、複数の見解を相互に関連づけ、当該のジャンルの書記習慣に従って、明瞭かつ詳細に記述文を書くことができる。</p> <p>(3) 2.1【143：創作】自分が関心を持つさまざまな話題について、明瞭、詳細に書くことができる。（一部：144）</p> <p>(4) 2.1【144：創作】映画や本、演劇の評を書くことができる。（一部：143）</p> <p>(5) 2.2【158：レポートやエッセイ】論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。（一部：159）</p> <p>(6) 2.2【159：レポートやエッセイ】いろいろな考えや問題の解決法を評価することができる。（一部：158）</p> <p>(7) 2.1【160：レポートやエッセイ】エッセイやレポートを書く時に、根拠を提示しながら、ある視点に賛成や反対の理由を挙げ、さまざまな選択肢の利点と不利な点を説明できる。（一部：161）</p> <p>(8) 2.1【161：レポートやエッセイ】いろいろなところから集めた情報や議論をまとめることができる。（一部：160）</p> <p>*「書くこと」B2固有のCan-doは8（5）個。</p>



段階	レベル	理解すること		話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	やりとり	表現	書くこと
自立した言語使用者	B1	<p>(1) B1.2【8：包括的な聴解】毎日や普段の仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報を理解できる。もし、大体が耳慣れた発音で、明瞭に話されていれば、一般的なメッセージも具体的な詳細も理解できる。</p> <p>(2) B1.1【9：包括的な聴解】短い物語も含めて、仕事、学校、余暇などの場面で普段出会う、ごく身近な事柄について、標準語で明瞭に話されたものなら要点を理解できる。</p> <p>(3) B1【16：母語話者同士の対話の理解】もし、話が標準語で、発音もはっきりしていれば、自分の周りでの長い議論の要点を普通に理解できる。</p> <p>(4) B1.2【21：聴衆の一人として生で聞くこと】もし、ごく身近なテーマと内容で、プレゼンテーションが簡潔で明確な構成を持っているならば、自分の専門の範囲で講義や話を理解できる。</p> <p>(5) B1.1【22：聴衆の一人として生で聞くこと】もし、はっきりと標準語で発音されるならば、ごく身近な話題についての簡単な短い話の要点を理解できる。</p> <p>(6) B1【26：広報・アナウンスや指示を聞くこと】毎日使っている機器・設備の取扱説明のような、簡単な専門的情報を理解することができる。詳細な指示を理解できる。（一部：27）</p> <p>(7) B1【27：広報・アナウンスや指示を聞くこと】詳細な指示を理解できる。（一部：26）</p> <p>(8) B1.2【34：音声メディアや録音を聞くこと】はっきりとした標準語で話された、個人的に興味がある話題であれば、録音され、放送された音声素材の大部分の情報の内容を理解できる。</p> <p>(9) B1.1【35：音声メディアや録音を聞くこと】比較的ゆっくりとはっきりと話された、ごく身近な話題に関するラジオの短いニュースや、比較的簡単な内容の録音された素材なら、主要な点は理解できる。</p> <p>(10) B1.2【77：テレビや映画を見ること】話し方が比較的ゆっくりと、はっきりとしていれば、インタビュー、短い講演、ニュースレポートなど本人の関心事である話題について、多くのテレビ番組の内容をおおかた理解できる。</p> <p>(11) B1.2【78：テレビや映画を見ること】映像と人の行動が話の大筋を伝え、はっきりとした簡潔な言語で話されていれば、かなりの映画が理解できる。（視聴覚受容活動）（一部：79）</p> <p>(12) B1.2【79：テレビや映画を見ること】話し方が比較的ゆっくりとはっきりとしていれば、身近な話題についてのテレビ番組の要点をつかむことができる。（視聴覚受容活動）（一部：78）</p> <p>*「聞くこと」B1固有のCan-doは12（10）個。</p>	<p>(1) B1【41：包括的な読解】簡潔な事実関係のテキストで、自分の専門分野や興味の範囲内のものは、十分に主題を理解できる。</p> <p>(2) B1【47：通信文を読むこと】個人の手紙を読んで、出来事、感情、希望の表現を理解することができ、定期的にペンフレンドと文通できる。</p> <p>(3) B1.2【53：世情を把握するために読むこと】必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、テキストの様々な部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。</p> <p>(4) B1.1【54：世情を把握するために読むこと】手紙、パンフレット、短い公文書のような日常の資料の中から重要な情報を探し出し理解できる。。</p> <p>(5) B1.2【63：情報や議論を読むこと】主張のはっきりした論説的テキストの主要な結論を把握できる。（一部：64）</p> <p>(6) B1.2【64：情報や議論を読むこと】必ずしも詳しくはなくても、提示された問題への対応に関する議論の筋道が分かる。（一部：63）</p> <p>(7) B1.1【65：情報や議論を読むこと】身近な話題についての簡単な新聞記事から重要点を取り出すことができる。</p> <p>(8) B1【70：説明書を読むこと】機器について、はっきりと書かれた簡潔な説明を理解できる。</p> <p>*「読むこと」B1固有のCan-doは8（7）個。</p>	<p>(1) B1.2【169：一般的な話し言葉のやり取り】自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。情報を交換、チェックし、確認できる。あまり日常的でない状況にも対処し、問題の在処を説明できる。映画、書籍、音楽などの抽象的な文化的話題について、自分の考えを表現できる。</p> <p>(2) B1.1【170：一般的な話し言葉のやり取り】単純な形だが幅広く言葉を使い、旅行中に遭遇する可能性のあるほとんどの状況に対処できる。身近な話題の会話に準備なしでも加わることができる。身近で個人的関心のある事柄、または日常生活に関連する話題（例えば、家族、趣味、仕事、旅行、時事問題）について個人的な意見を表明したり、情報を交換したりできる。</p> <p>(3) B1【188：会話】身近な話題についての会話なら準備なしに参加できる。（一部：189、190、191）</p> <p>(4) B1.2【240：目的達成のための協同作業】相手の話し方が速かったり長い場合には、繰り返しや説明を求めるところもあるが、言われたことは理解できる。（一部：241、242）</p> <p>(5) B1.1【243：目的達成のための協同作業】言われたことはたいてい理解でき、必要ときにはお互いの理解を確認するために、言われたことの一部を繰り返すことができる。（一部：244、245）</p> <p>(6) B1【255：製品やサービスを得るための取引】旅行中に起きそうなたいていのこと、旅行の打ち合わせなどのやり取りに対処することができ、外国を訪問中に関係当局と対応できる。（一部：256、257）</p> <p>(7) B1.2【274：情報の交換】短い物語、記事、スピーチ、討議、インタビュー、ドキュメンタリーをまとめ、自分の意見を示すことができる。またさらに細部に関する質問に答えることができる。（一部：272、273）</p> <p>(8) B1.1【275：情報の交換】事実に基づく簡単な情報を見つけ出し、人に伝えることができる。（一部：276、277）</p> <p>(9) B1.2【296：インタビューすること、インタビューを受けること】インタビューや診察（例：医者に症状を説明する）で正確さは限られるものの、必要とされる具体的な情報を提供することはできる。（一部：297）</p> <p>(10) B1.1【298：インタビューすること、インタビューを受けること】インタビューや協議（例：新しい話題を始める）で、対話の相手に頼るところが大きいものの、いくらかイニシアティブをとることができる。（一部：299）</p> <p>*「やりとり」B2固有のCan-doは37（14）個 *包括的なものは採用。 *カテゴリーごとのバランスを見て選択 *2.1、2.2揃っているもので比較的レベル感がわかるものを抽出</p>	<p>(1) B1【86：】自分の関心のある様々な話題のうちのどれかについて、ほとんどの流暢さで、ある程度の長さの、簡単な記述やプレゼンテーションができる。その際、事柄の提示は直線的に並べるとどまる。</p> <p>(2) B1【93：総合的な口頭発話】自分の関心事で、馴染みのあるさまざまな話題について、簡単に述べることができる。（一部：94、95、96、97、98、99、100）</p> <p>(3) B1【94：長く一人で話す：経験談】事柄を直線的に並べていって、比較的流暢に、簡単な語り、記述が出来る。（一部：93、95、96、97、98、99、100）</p> <p>(4) B1【95：長く一人で話す：経験談】自分の感情や反応を記述しながら、経験を詳細に述べるることができる。（一部：93、94、96、97、98、99、100）</p> <p>(5) B1【96：長く一人で話す：経験談】予測不能の出来事（例えば事故など）を、順序立てて詳細に述べることができる。（一部：93、94、95、97、98、99、100）</p> <p>(6) B1【97：長く一人で話す：経験談】本や映画の筋を順序立てて話し、それに対する自分の考えを述べることができる。（一部：93、94、95、96、98、99、100）</p> <p>(7) B1.2【113：長く一人で話す：論拠を述べること】ほとんどの場合、明確な議論が構築でき、退院がついていくのに苦労しない。</p> <p>(8) B1.1【114：長く一人で話す：論拠を述べること】意見、計画、こうどうについて短い理由や説明ができる。</p> <p>(9) B1【117：公共アナウンス】自分の分野に関連する話題について、練習しておけば短いアナウンスができる。アクセントとイントネーションには、かなり外国語なまりの部分もあるが、それでもはっきりと分かりやすい。</p> <p>(10) B1【127：聴衆の前での講演】自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡単なプレゼンテーションができる。ほとんどの場合、聴衆が難なく話についていける程度に、はっきりとしたプレゼンテーションをすることができ、また要点をそこそこ正確に述べるることができる。（一部：128）</p> <p>*「表現」B1固有のCan-doは14（6）個 *包括的なものは採用。 *カテゴリーごとのバランスを見て選択 *2.1、2.2揃っているもので比較的レベル感がわかるものを抽出</p>	<p>(1) B1【137：総合的な書く活動】一連を短い別々にしている要素を一つの流れに結びつけることによって、自分の関心が及ぶ身近な話題について結束性のある簡単なテキストを書くことができる。</p> <p>(2) B1【145：創作】自分が関心を持つ身近な話題について、複雑でないが、詳しく記述することができる。（一部：146、147、148）</p> <p>(3) B1【146：創作】単純に繋ぎあわせたテキストで感情や反応を記述し、経験したことを書くことができる。（一部：145、147、148）</p> <p>(4) B1【147：創作】現実のことであれ想像上であれ、最近行った旅行や出来事を記述できる。（一部：145、146、148）</p> <p>(5) B1【148：創作】物語を書くことができる。（一部：145、146、147）</p> <p>(6) B1.2【162：レポートやエッセイ】関心をもつ話題についての短い簡単なエッセイを書くことができる。（一部：163）</p> <p>(7) B1.2【163：レポートやエッセイ】自分の専門範囲の日常的もしくは非日常的な事柄について、集めた事実情報をもとに、総括し、報告できる。また、それに対し、ある程度の自信を持って自分の意見を提示することができる。（一部：162）</p> <p>(8) B1.1【164：レポートやエッセイ】日常的な事実を述べ、行動の理由を説明するために、極めて短い報告文を標準的な常用形式に沿って書くことができる。</p> <p>*「書くこと」B1固有のCan-doは8（4）個</p>

段階	レベル	理解すること		話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	やりとり	表現	書くこと
基礎段階の言語使用者	A2	<p>(1) A2.2【10：包括的な聴解】もし、はっきりとゆっくりとした発音ならば、具体的な必要性を満たすことが可能な程度に理解できる。</p> <p>(2) A2.1【11：包括的な聴解】もし、発音がはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域（例、ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理、仕事・雇用）に関連した句や表現が理解できる。</p> <p>(3) A2【17：母語話者同士の対話の理解】ゆっくりと、はっきりとした議論なら、自分の周りで議論されている話題はおおかた分かる。</p> <p>(4-1) A2【28：広報・アナウンスや指示を聞くこと】短い、はっきりとした、簡単なメッセージやアナウンスの要点は聞き取れる。（一部：29）</p> <p>(4-2) A2【29：広報・アナウンスや指示を聞くこと】徒歩や公共交通機関を使ってXからYまでどうやって行くのかという簡単な説明は理解できる。（一部：28）</p> <p>(6) A2【36：音声メディアや録音を聞くこと】ゆっくりとはっきりと話されれば、予測可能な日常の事柄に関する、短い録音の一節を理解し、必要な情報を取り出すことができる。</p> <p>(7) A2.2【80：テレビや映画を見ること】映像と実況説明がほとんど重なるならば、出来事や事故を伝えるテレビのニュース番組の要点が分かる。</p> <p>(8) A2.1【81：テレビや映画を見ること】事実報道のテレビニュースの話題が変われば、そのことに気がつき、内容を大まかに理解できる。</p> <p><b>*「聞くこと」A2固有のCan-doは8（7）個。</b></p>	<p>(1) A2.2【42：包括的な読解】非常によく用いられる、日常的、もしくは仕事関連の言葉で書かれた、具体的に身近な事柄なら、短い簡単なテキストが理解できる。</p> <p>(2) A2.1【43：包括的な読解】よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。</p> <p>(3) A2.2【48：通信文を読むこと】身近な話題についての日常の手紙やファックス（照会、注文、確認など）の基本的なタイプのものが理解できる。</p> <p>(4) A2.1【49：通信文を読むこと】短い個人の手紙は理解できる。</p> <p>(5) A2【55：世情を把握するために読むこと】広告、趣意書、メニュー、参考書目録、時刻表のような、簡単な日常の資料の中から予測可能な特定の情報を見つけることができる。（一部：56、57）</p> <p>(6) A2【56：世情を把握するために読むこと】リストの中から特定の情報を見定めて、必要とされる情報を抜き出すことができる。（例えば、サービスや小売店を探すために「イエローページ」を使う。）（一部：55、57）</p> <p>(7) A2【57：世情を把握するために読むこと】日常の看板や提示を理解することができる。例えば、公の場所では、道路、レストラン、鉄道の駅などの看板、職場では説明、指示、危険警告などの掲示が理解できる。（一部：55、56）</p> <p>(8) A2【66：情報や議論を読むこと】手紙、パンフレット、新聞の短い事件記事のような、簡潔なテキストの中から特定の情報を取り出すことができる。</p> <p>(9) A2.2【71：説明書を読むこと】簡単な言語で表現されていれば、例えば安全のためなどの規則が理解できる。</p> <p>(10) A2.1【72：説明書を読むこと】公衆電話のような日常生活で見る機器についての簡潔な説明を理解できる。</p> <p><b>*「読むこと」A2固有のCan-doは10（8）個。</b></p>	<p>(1) A2.2【171：一般的な話し言葉のやり取り】もし必要がある場合に相手が助けてくれれば、予め決まっているような状況、短い会話でなら、比較的容易に対話ができる。余り苦労しなくても日常での簡単なやり取りができる。予測可能な日常の状況ならば、身近な話題についての考えや情報を交換し、質問に答えることができる。</p> <p>(2) A2.1【172：一般的な話し言葉のやり取り】仕事や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。非常に短い社会的なやり取りには対応できるが、自分から会話を進められるほどの理解はない。</p> <p>(3) A2.2【178：母語話者との対話を理解すること】あまり苦労せずに簡単な日常のやり取りを何とかできるぐらいの理解はできる。（一部：179）</p> <p>(4) A2.1【180：母語話者との対話を理解すること】簡単な日常会話で、自分に対してははっきりとゆっくりと、直接言われたことを理解できる。もし、話し手の方が面倒がらねば、分かるようにしてもらえる。</p> <p>(5) A2.2【246：目的達成のための協同作業】理解できない場合は、単に繰り返しを求めるだけで、あまり苦労せずに簡単な日常の課題にうまく対処できる程度に理解できる。（一部：247）</p> <p>(6) A2.1【249：目的達成のための協同作業】簡単な表現を使って日常の課題に関するやり取りができ、物を要求したり、与えたり、簡単な情報を得たり、次にすることを話し合うことができる。（一部：248）</p> <p>(7) A2.2【258：製品やサービスを得るための取引】旅行、宿泊、食事、買い物のような毎日の生活での普通の状況に対処することができる。（一部：259）</p> <p>(8) A2.1【261：製品やサービスを得るための取引】旅行や、バス、列車、タクシーなどの公共の交通機関についての簡単な情報を得ることができる。行き方を聞いたり、教えたりすることができる。切符を買うことができる。（一部：260、262、263、264、265）</p> <p>(9) A2.2【300：インタビューすること、インタビューを受けること】もし時々説明を求めたり、自分が言いたいことを表現する手助けが得られれば、インタビューで自分の言いたいことを相手に理解させられるし、身近な話題についての考えや情報を伝えることができる。</p> <p>(10) A2.1【301：インタビューすること、インタビューを受けること】インタビューで簡単な質問に答えたり、簡単な意見表明ができる。</p> <p><b>*「やりとり」A2固有のCan-doは46（18）個</b>  <b>*包括的なものは採用。</b>  <b>*カテゴリーごとのバランスを見て選択</b>  <b>*2.1、2.2揃っているもので比較的レベル感がわかるものを抽出</b></p>	<p>(1) A2【87：総合的な口頭発話】人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。その際簡単な字句や文を並べる。</p> <p>(2) A2.2【101：長く一人で話す：経験談】事項を列挙して簡単に述べたり、物語ることができる。自分の周りの環境、例えば、人や場所、仕事、学習経験などの日常を述べることができる。（一部：102、103、104、105）</p> <p>(3) A2.2【102：長く一人で話す：経験談】出来事や活動の要点を短く述べることができる。（一部：101、103、104、105）</p> <p>(4) A2.2【103：長く一人で話す：経験談】計画、準備、習慣、日課、過去の活動や個人の経験を述べることができる。（一部：101、102、104、105）</p> <p>(5) A2.2【104：長く一人で話す：経験談】簡単な記述的な言葉を用いて、事物や所有物について短く述べたり、それらを比較できる。（一部：101、102、103、105）</p> <p>(6) A2.1【106：長く一人で話す：経験談】家族、住居環境、学歴、現在やごく最近までしていた仕事を述べることができる。（一部：107）</p> <p>(7) A2.1【107：長く一人で話す：経験談】簡単な言葉で人や場所、所有物を述べることができる。（一部：106）</p> <p>(8) A2【118：公共アナウンス】聞き手が集中して聞いてくれれば、練習した上で、予測可能で身近な内容の事柄について、短いアナウンスができる。</p> <p>(9) A2.2【129：聴衆の前での講演】自分の毎日の生活に直接関連のある話題については、リハーサルして短いプレゼンテーションができる。意見、計画、行動に対して、理由を挙げて短く述べることができる。（一部：130）</p> <p>(10) A2.1【131：聴衆の前での講演】身近な話題について、リハーサルをして、短い基本的なプレゼンテーションができる。（一部：132）</p> <p><b>*「表現」A2固有のCan-doは13（6）個</b>  <b>*包括的なものは採用。</b>  <b>*カテゴリーごとのバランスを見て選択</b>  <b>*2.1、2.2揃っているもので比較的レベル感がわかるものを抽出</b></p>	<p>(1) A2【138：総合的な書く活動】「そして・しかし・なぜなら」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。</p> <p>(2) A2.2【149：創作】自分の周りにある日々のいろいろな事柄、例えば、人物、場所、仕事や学習経験などについて、つながるのある文を書くことができる。（一部：150）</p> <p>(3) A2.2【150：創作】出来事、過去の活動、個人的な経験の記述を短い文で書くことができる。（一部：149）</p> <p>(4) A2.1【151：創作】家族、生活環境、学歴、現在または最近の仕事について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。（一部：152）</p> <p>(5) A2.1【152：創作】短く簡単な想像上の人物伝や、人物を題材にした簡単な詩を書くことができる。（一部：151）</p> <p><b>*「書くこと」A2固有のCan-doは5（3）個</b></p>



段階	レベル	理解すること		話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	やりとり	表現	書くこと
基礎段階の言語使用者	A1	<p>(1)【12：包括的な聴解】意味が取れるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。</p> <p>(2)【30：広報・アナウンスや指示を聞くこと】本人に向かって、丁寧にゆっくりと話された指示なら理解できる。短い簡単な説明なら理解できる。</p> <p>*「聞くこと」A1固有のCan-doは2個。</p>	<p>(1)【44：包括的な読解】非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現と一つずつ取り上げて、必要であれば、読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。</p> <p>(2)【50：通信文を読むこと】葉書の短い簡単なメッセージを理解することができる。</p> <p>(3)【58：世情を把握するために読むこと】日常のよくある状況下で、簡単な掲示の中から身近な名前や語、基本的な表現が分かる。</p> <p>(4)【67：情報や議論を読むこと】簡単な情報文の内容や、簡潔な記述分の概要を把握することができる。特に視覚的な補助があれば、更に容易に概要が把握できる。</p> <p>(5)【73：説明書を読むこと】(例えば、XからYへ行くための)短い、簡潔に書かれた方向指示を理解できる。</p> <p>*「読むこと」A1固有のCan-doは5個。</p>	<p>(1)【173：一般的な話し言葉のやり取り】簡単な方法でやり取りができるが、ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションすることになる。簡単な質疑応答はできる。すぐに回答が必要な事柄やごく身近な話題についてなら、話も始められ、応答もできる。</p> <p>(2)【181：母語話者との対話を理解すること】こちらの事情を理解してくれるような話し相手から、はっきりとゆっくりと、繰り返しを交えながら、直接自分に向けられた話ならば、具体的に単純な必要性を満たすための日常の表現を理解できる。(一部：182)</p> <p>(3)【200：会話】紹介や基本的な挨拶、いとまぎいの表現を使うことができる。(一部：201、202)</p> <p>(4)【201：会話】人が元気かどうかを聞き、近況を聞いて、反応することができる。(一部：200、202)</p> <p>(5)【250：目的達成のための協同作業】注意深く、ゆっくりと表現された質問や説明なら理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。(一部：251、266、267)</p> <p>(6)【267：製品やサービスを得るための取引】数や量、費用、時間を扱うことができる。(一部：259)</p> <p>(7)【288：情報の交換】自分に向けられた、注意深く、ゆっくり表現された質問や説明が理解できる。短い簡潔な指示を理解できる。(一部：289、290、291)</p> <p>(8)【290：情報の交換】自分自身や他人の住まい、知人、所有物などについて質問を受けたり、答えたりすることができる。(一部：288、289、291)</p> <p>(9)【291：情報の交換】「来週、前の金曜日、11月には、3時」などの表現を用いて時を知らせることができる。(一部：288、289、290)</p> <p>(10)【302：インタビューすること、インタビューを受けること】個人的なことについて、慣用的な言葉遣いもなく、ごくゆっくりとはっきりと話してもらえれば、簡単かつ直接的な質問に答えることができる。</p> <p>*「やりとり」A1固有のCan-doは15(6)個 *包括的なものは採用。 *カテゴリーごとのバランスを見て選択 *2.1、2.2揃っているもので比較的レベル感がわかるものを抽出</p>	<p>(1)【88：総合的な口頭発話】人物や場所について、単純な字句を並べて、述べるができる。</p> <p>(2)【108：長く一人で話す：経験談】自分について、自分が何をしているか、自分が住んでいる場所を、述べるができる。</p> <p>(3)【133：聴衆の前での講演】非常に短い、準備して練習した言葉を読み上げることができる。例えば、話し手の紹介や乾杯の発声など。</p> <p>*「やりとり」A1固有のCan-doは3個</p>	<p>(1)【139：総合的な書く活動】簡単な表現や文を単独に書くことができる。</p> <p>(2)【153：創作】自分自身や想像上の人々について、どこに住んでいるか、何をする人なのかについて、簡単な句や文を書くことができる。</p> <p>*「書くこと」A1固有のCan-doは2個</p>